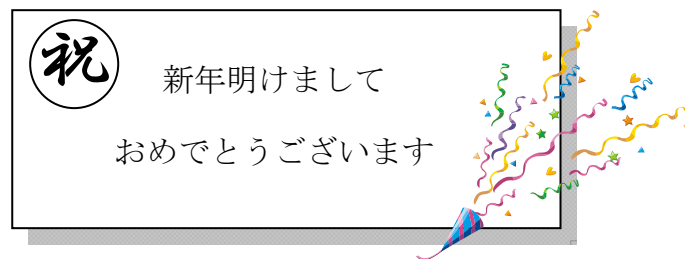


1月20日(金) エコロジー研究会のご案内
「森林循環で日本再興」

2012年1月吉日



エコロジー研究会
会長 井上 健雄



2012年が始まります。

新年度初のエコロジー研究会です。

当研究会顧問の郡嶋孝様のご登壇です。今回、インターフェイスフロア創業者・会長レイ・C・アンダーソン氏（2011年8月15日逝去）を偲び、彼の業績・思想について言及いただきます。話題にあふれるデザイン、長期使用に耐える製品、自然循環システムに考慮するなど、タイルカーペットを通じて持続可能なビジネスモデルを創造した人です。

凄くワクワクします。私たちのビジネス・生き方にとっても示唆されることが大変多いでしょう。

ロバート・A・マクドナルドは、こう言っている。

現在の情勢はVUCAだ。

V	—	volatile	不安性
U	—	uncertain	不確実
C	—	complex	複雑
A	—	ambiguous	曖昧

2012年、年明けに展望してみても、ギリシアに端を発するユーロ危機、米の財政赤字問題、日本の過大な借金体質、それに追い打ちをかける東日本大震災に伴う復興財源、消費税率UP、中国・インド経済の成長率鈍化傾向、政治・防衛に関わる北朝鮮問題、中国軍事力の増強、ロシアの帝国行動の拡大等々…世界、日本の各種の問題の解決の糸口はなかなか見えてきません。

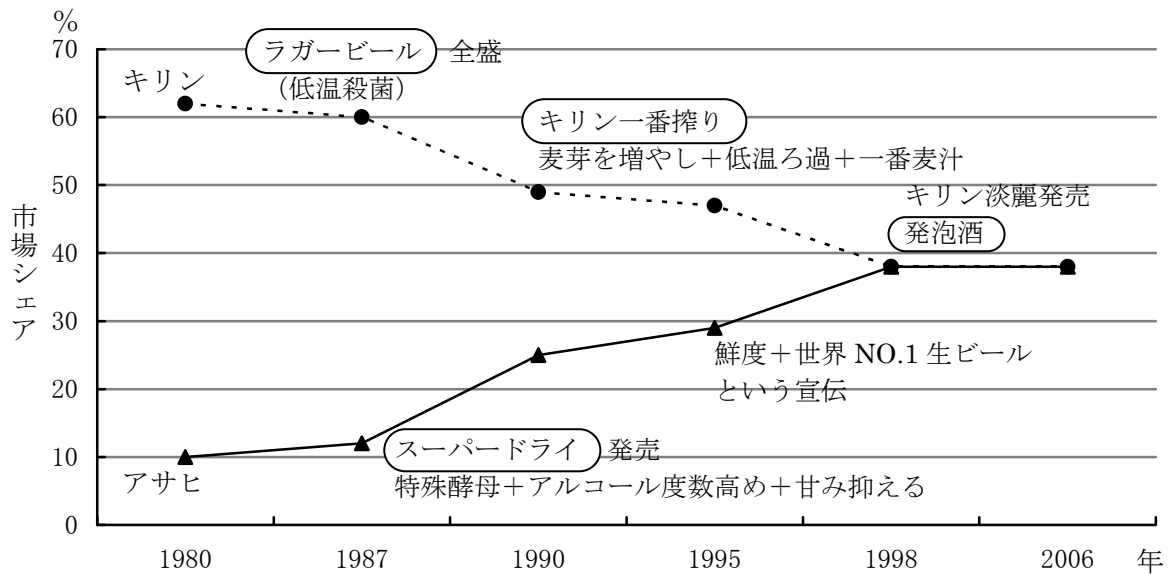
というより、一層混迷の度を高めていくでしょう。

こうした状況で最も重要なことは、今している足元の仕事をしっかりやることである。

この「しっかり」がポイントである。同じことをやっけて「しっかり」はなかなか通用しないものである。

社会が変わる、人々が変わる、環境が変わる…のだから、提供する商品・サービス・仕組みも変わらねばならない。

この変化を、ビール業界二大ブランドの麒麟とアサヒのほんの20~30年のタイムスパンから見よう。



1980年、シェア60%を超える大巨人だった麒麟と、シェア10%だったアサヒが今、2006年40%弱のシェアを持ち拮抗している。つまりアサヒは30%ほどシェアを高め、麒麟は20%シェアを落としたのである。

この現象は、ブランド力だけでは説明できない。

ここに「レレバンス」という概念が登場するものである。

今回はレレバンスについてご紹介を考えている。

エコロジー研究会「森林循環で日本再興」

(第一部)	
14:15-14:30	受付
1 14:30-15:45	「持続性経営とは何か？－レイ・アンダーソンを追悼して」 郡 嶋 孝 氏 (同志社大学 経済学部 教授)
2 15:45-16:15	会長挨拶「レレバンスが勝負を分ける」 井上 健雄 (エコロジー研究会 会長)
3 16:15-17:00	会員最新情報 (例) 吉野町山循環の取り組み、町おこしについて 坂本 良平 氏 (吉野中央森林組合 専務理事) 他
(第二部)	
17:15-18:30	年初め もりもり元気会食・懇談会

開催日時

2012年1月20日(金)

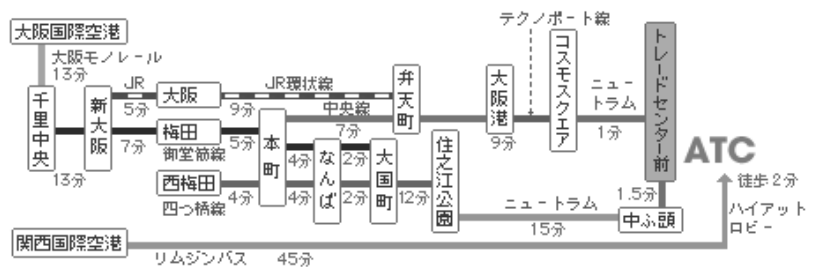
第一部 14:30~17:00 (開場 14:15)

第二部 17:00~18:30

*費用は年会費で充当致します。会員企業はお二人まで無料招待させていただきます。お誘い併せてお越しください。ゲストスピーカー、招待者の方々は、人格の香りと最新の情報が参加費となります。

開催場所

第一部 ATCビル ITM棟 11F
多目的スペース
(大阪市住之江区南港北2-1-10
ATCビル ITM棟 11F)
第二部 ピア6 (ATCビル ITM棟 6階)



エコロジー研究会 会員 賛同者 各位

エコロジー研究会のご案内 「森林循環で日本再興」

ご多忙とは存じますが、ぜひご参加戴ければと思います。

- | |
|--|
| ■日時：1月20日（金） 14:30～17:00
■場所：ATCビルITM棟11F 多目的スペース |
|--|

ご出欠確認票

エコロジー研究会事務局行き

FAX : 06-6614-1801

E-mail : yagi@e-being.jp

貴社名/個人名

締め切り：2012年1月17日（火）までにご返事頂きますよう宜しくお願い致します。

ご氏名	ご役職	E-mail	研究会	懇親会
			出・欠	出・欠
			出・欠	出・欠
			出・欠	出・欠

近況・メッセージ・PR等

--